

## 第5学年 社会科学学習指導案

### 1 小単元名 「わたしたちの生活と森林」 (7時間)

#### 2 小単元の目標と観点別評価規準

##### (1) 小単元の目標

- 我が国の国土の環境と国民生活の関連について、森林の種類や国土に占める割合、森林資源がもつ多様な機能、森林の育成や保護に関わる人々の工夫や努力などに着目して、地図帳や各種の資料で調べてまとめ、国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現することを通して、森林はその育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解できるようにする。
- 森林における国土保全についての学習問題を主体的に追究して解決しようとするとともに、学んだことを基にして、森林資源などの国土の環境保全への関わり方について考えようとしている。

##### (2) 小単元の評価規準

評価の観点	評価規準	学習過程の どこで
社会的事象についての 関心・意欲・態度	①我が国の森林資源の働きに関心をもち、わたしたちのくらしと森林の関連について意欲的に調べている。 ②国土の保全の現状や課題にたいして自分なりの問題意識をもつ。 ③森林を守り続けていくために自分はどうに関わっていけばよいかを考えようとしている。	つかむ① 調べる⑥ まとめる⑦
社会的な 思考・判断・表現	①我が国の森林資源の働きについて、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ②森林資源の働きと人々の生活や産業などを相互に関連付けて、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考え適切に表現している。	つかむ② まとめる⑦
観察・資料活用の 技能	①地図帳、写真、統計資料を活用して我が国の森林の広がりや働き、森林保全の取組の様子について必要な情報を集め、読み取っている。 ②森林資源の働きや森林保全の取組の様子調べて読み取ったことを整理し、関連図にまとめている。	調べる ③④⑤ まとめる⑦
社会的事象についての 知識・理解	①我が国には森林が広がっていること、森林の育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力をしていること、行政・企業・市民が協力して森林保全を行っていることなどを基に、森林が国土の保全において重要な役割を果たしていることを理解している。	調べる ③④⑤

#### 3 小単元について

##### (1) 学習指導要領との関連

本小単元は学習指導要領の次の内容を受けて設定した。

- (1) 我が国の国土の自然などの様子について、次のことを地図や地球儀、資料などを活用して調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。

エ 国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止

本小単元では、内容(1)のエの森林資源の働きを独立して単元を設定した。森林資源を利用してきた時間的視点をもとに調べる活動をすることで、森林がどのような働きをもっているのかを理解した上で、国土を保全の重要性に一層関心をもって追究できるようにした。さらに、国民の一人として、自分が国土を保全することについてどのように考えたり関わったりするのかについて自分の考えをまとめる学習展開を考えた。

## 大単元の構想

	学習内容	指導要領との関連
大単元のオリエンテーション	わたしたちの生活と環境 ①自分たちの身のまわりの自然環境保護の取組について知る。 ②日本にある世界自然遺産について知り、自然保護の取組を調べ、共通点を話し合う。 ③日本の自然環境について疑問を出し合う。 <u>大単元のめあて</u> 日本をよりよい環境にするために、誰がどのような活動をしているのだろうか。	
第1小単元	わたしたちの生活と森林（事例①） ※国土に広がる森林が、国土保全にどのような役割を果たしているのかを知り、森林保全へ向けた自分たちの関わり方を考える。	内容 エ
第2小単元	環境を守るわたしたち（事例②） ※国土の環境が、人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを知り、国土の公害防止へ向けた自分たちの関わり方を考える。	内容 ウ
第3小単元	自然災害を防ぐ（事例③） ※自然災害の被害を防ぐために、自分たちを含む国民は何をすべきなのか考える。	内容 エ

## (2) 教材について

本小単元で取り上げる主な教材は「森林資源利用の時間的経緯」「森林の多面的機能」「森林保全の現状」、「東京の森林保全」、「林業家の取組」、「森林保全に関する国や自治体、企業、市民団体の取組」の6つである。教材の特徴として以下のように分析した。

### ①森林資源利用の時間的経緯

日本では、歴史上、森林にある木を、建築材や燃料として活用してきた。しかし、過剰な伐採によって、第二次世界大戦の終わり頃には、森林が減少した。戦後は、木材の需要が減少したことに伴い、林業家が植林を進めたが、その後の高度経済成長期になると、国産の木材の需要が減少したことに伴い林業家が減少したことで、森林の伐採頻度が減ってきた。

### ②森林の多面的機能

森林には、様々な機能がある。環境面では、二酸化炭素の吸収、生態系の保全、土砂災害防止機能、大気浄化や気候緩和、水質浄化、洪水緩和などの機能がある。また、経済財源として建築材や燃料材としての利用、きのこや山菜などの食料を生み出す場所としての機能や、保養（キャンプや山歩き）やレクリエーションなどの機能をもつ。さらに文化面として景観や学習、教育、芸術などとの関わりもあり、経済財源としての評価額は、年間6700億円、環境財源としての評価額は年間70兆円にも及ぶ。

### ③森林保全の現状

日本の森林率は67%で、今ある森林の年間生長量を計算していくと、国内だけで木材の需要をまかなえる資源がある。しかし、国産材の木材自給率は現在30%程度である。現在、国民の森林に対する無関心さが高まってきていることや、木材の使用率が減少してきたこと、林業家が減少してきたことなどから、日本の森林保全には課題が多い。現在、国産木材の需要を高める取り組みを国や自治体、企業、市民団体などが主体となって進めている取組も増えてきたが、管理が行き届かない森林が全国に広がっているため、このままでは、将来的に多様な機能をもつ森林が保てない恐れがある。

### ④東京の森林保全

東京の森林率は約38%で、現在は有史以来の森林率と言われている。しかし、現在の東京都にいる林業家は400人弱で、東京都の森林は800km<sup>2</sup>であることを踏まえると、1人が約2km<sup>2</sup>を保全していくことになり、人材不足は否めない。そこで、東京の林業に関わる人たちの取組として、東京都森林組合や青梅りんけん、東京チェーンソーズなどが都民を巻き込んだ様々な活動を行っている事例を扱っていく。

### ⑥森林保全に関する国や自治体、企業、市民団体の取組

#### 国の取組

#### ①木づかい運動

平成17年度から林野庁が推進している国産材利用推進のための国民運動で、京都議定書目標達成計画の森林吸収源対策の一環で、地球温暖化防止の観点から国産材の利用を推進している。

## ②森林環境税の導入

温暖化対策のパリ協定に基づき、二酸化炭素を削減するには森林を保全する必要があり、水源の維持にもつながるため、政府は手入れの行き届かない森林を市町村が集約し、意欲と能力のある林業経営者に管理を委託する一方で、条件が悪く民間の委ね先が見つからないものについては、市町村自らが管理を行う「森林バンク」の仕組みを立ち上げようとしている。この市町村による管理に必要な費用をまかなおうというのが「森林環境税」であり、広く国民に負担を求めようと、個人住民税に上のせして集める方向で調整されている。具体的には、個人の市町村税に上乘せ（約6200万人が対象で、620億円前後という相当大型の新税になる）し、税収は国が集めて特定財源にし、必要とされる市町村に配布される。使途は間伐などの森林整備、人材の育成、道路の整備、機械の購入などに充てられる。

### 東京都

公共事業として、林業家に間伐等の森林の整備、木材の搬出に必要な作業道づくりなどの施行を委託している。このような行政の負担分を補助金と呼んでいて、森林・林業関連の補助事業には、植え付け、下刈り、間伐など各種作業のほか、木材流通、基盤整備などに関するものが幅広くある。また、森づくり推進プランの策定をしたり、スギ花粉対策で森林の循環を促進したり、林業労働力の確保と技術者の育成、都民や企業との協働による森づくりの推進、「多摩産材」の利用拡大を推進したりしている。しかし、多摩産材を例に見ると、都民の多摩産材への認識は18.7%と低く、使用したことがあるという割合は0.9%に過ぎない。

### 企業

企業の協賛により「花粉の少ない森づくり」を進めていく事業で、対象となる森林の所有者、企業（団体）、（公財）東京都農林水産振興財団の三者で10年間の森林管理に関する協定を締結するという「企業の森」の取組をしている。その間、企業（団体）は森に名前をつけ社会貢献活動のPRや、研修の場として利用することもできる。

### 市民団体

一般財団法人世田谷トラストまちづくりは、緑や水辺などの自然環境を区民共有の宝物として、みんなで協力しながら守り育て、次世代に引き継いでいくことを目的とした“世田谷のトラスト運動”を進めている。世田谷のトラスト運動は、単にみどりを守るというだけでなく、地域に誇りと愛着を持った人達が、主体的に環境保全を進める英国の「シビック・トラスト」運動も参考にしている。民有地のみどりを保全する「市民緑地」や「小さな森」の29箇所を超える開設実績や、延べ500人を超えるボランティアの方々との環境保全活動は、都市型トラスト運動のモデルとしても、全国で注目を集めている。

#### 4 学年の研究主題との関連

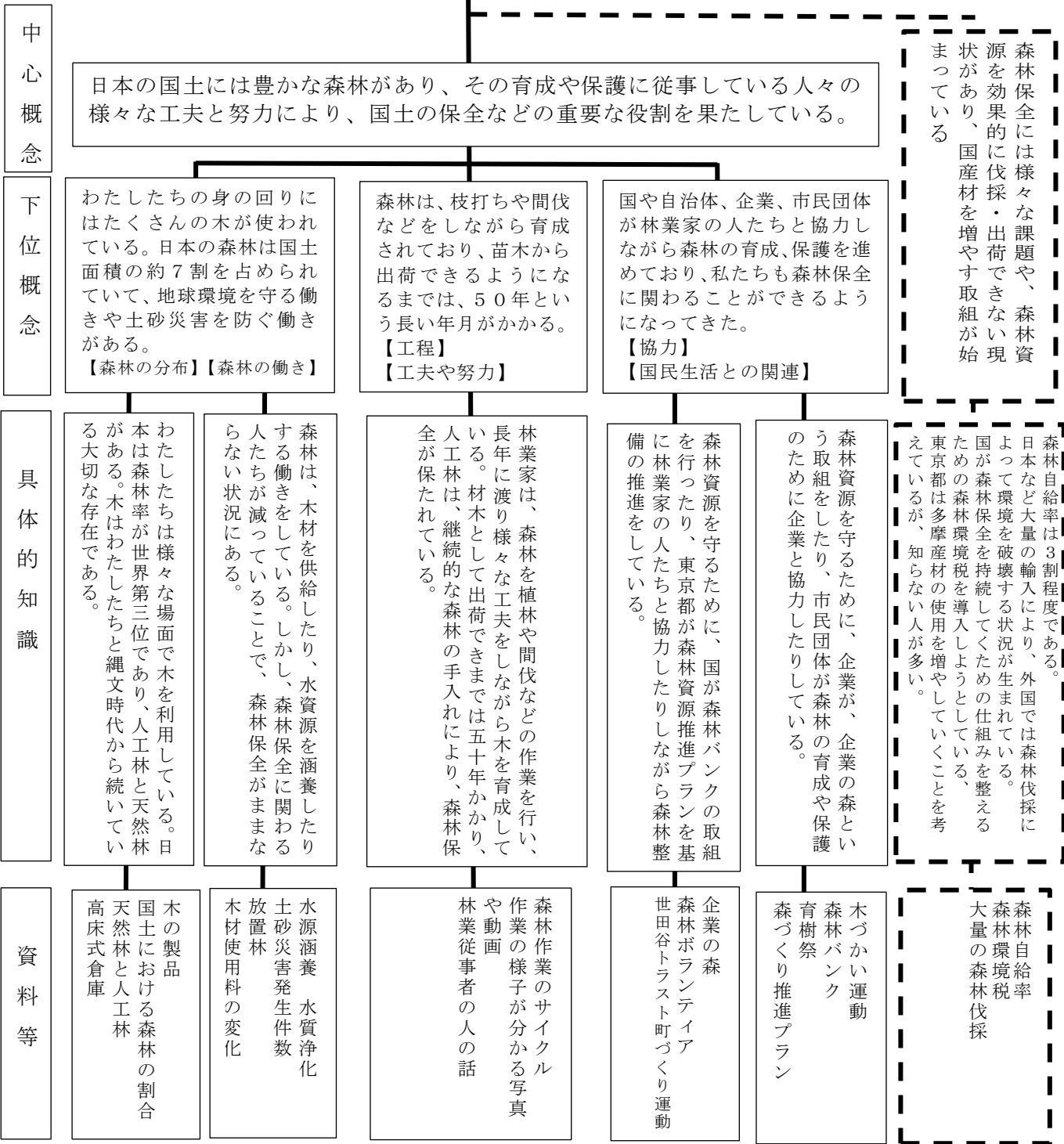
**よりよい社会について考えようとする子供の育成**  
 ～国土や産業の姿を追究し、社会の未来について考えようとする子供を育てる指導の工夫～

(1) 社会生活について理解を深め、社会との関わりを考えられる教材の工夫

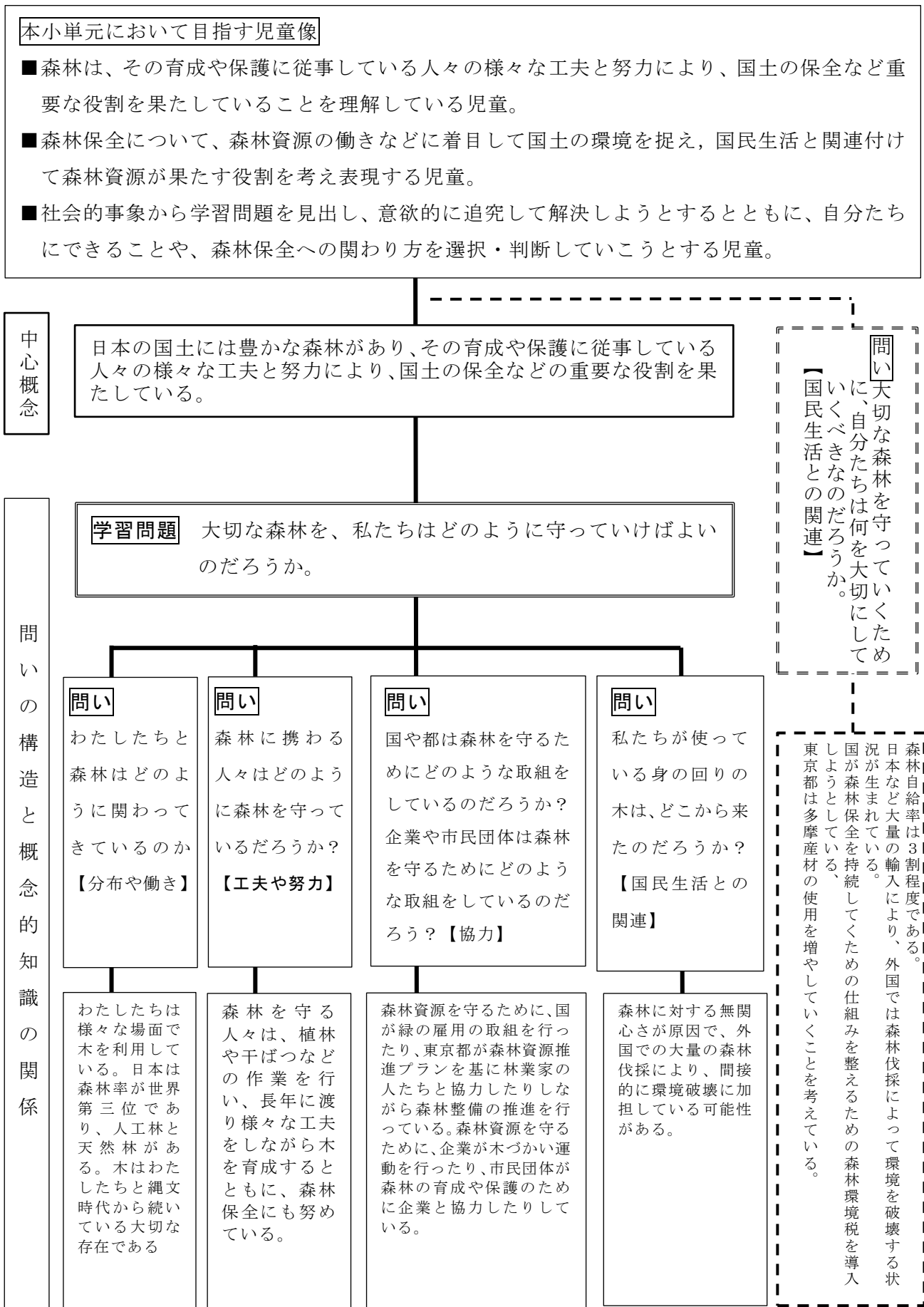
① 社会的事象の見方・考え方（視点や方法）を位置づけた教材構造図を作成する。

**現行学習指導要領**

内容(1) 我が国の国土の自然などの様子について、次のことを地図や地球儀、資料などを利用して調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。  
 エ 国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止



② 目指す子供を資質・能力の3つの柱から以下のように設定した。また、教材構造図との接続を図って目指す子供像に迫るために「問いの構造」を下段のように想定した。

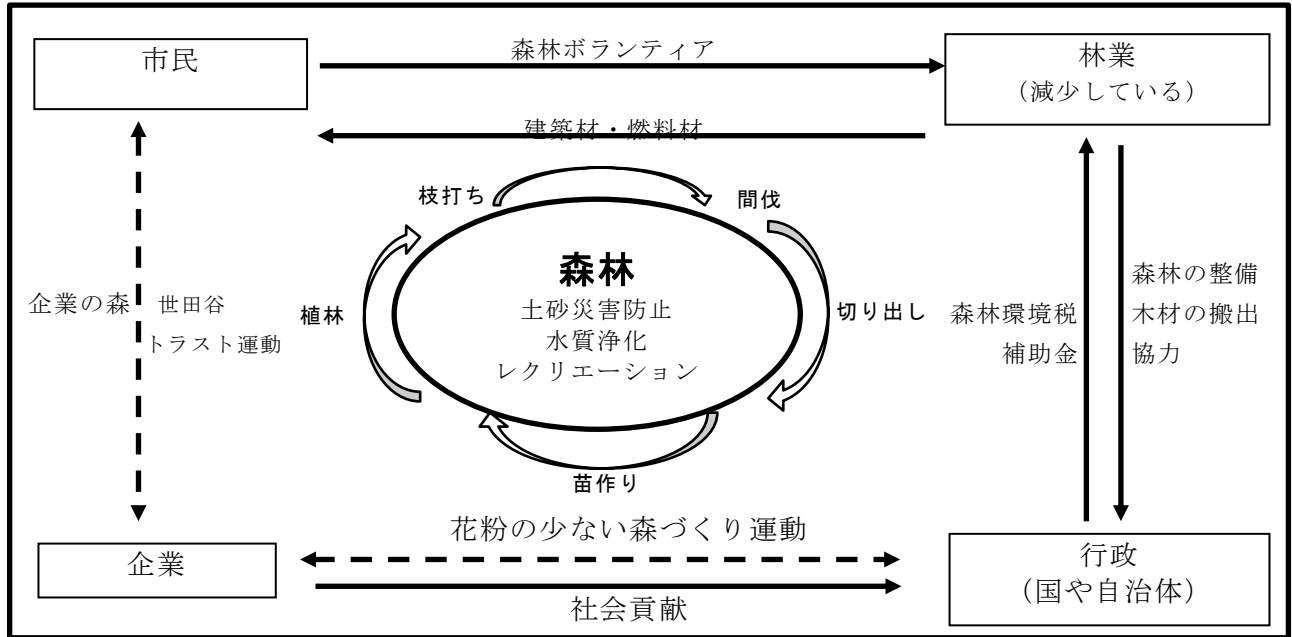


③ 問題解決の過程に即して問いを想定するとともに、対話的な学びを促す学習活動を設定し、以下の表に目指す子供像と主な教材とともに整理した。

	目指す児童の具体的な姿と評価の方法	追究の視点や方法に基づいた「問い」	教材の工夫	学習活動などの指導法の工夫
つかむ	〈目指す児童像〉 私たちの生活と木や森林を関連付けて考えることで、問題意識を高め、学習問題を設定し、予想を立てている。	・我が国では、どのような森林がどのように広がっているのか。 【森林資源の分布】  ・森林は、国土を守るためにどのような役割を果たしているのか。 【森林資源の働き】	○時間的・空間的・相互関係的な視点をふまえた教材 【空間的な視点の教材】 ・ランドサットの衛星写真  【時間的な視点の教材】 ・弥生時代や飛鳥時代の木造建築や、安土・桃山時代の植林に関する文章資料 【相互関係的な視点の教材】 ・森林の公益的な機能を表す資料 ・山火事後の土砂災害の写真 ・1年間の土砂災害平均発生数 ・林業従事者の推移 ⇒木や森林と国民生活との関連に着目できる教材	○対話的に学び、多角的に考えるための工夫 ・森林に関わる問題について、林業従事者の推移と結び付けて話し合うことで予想をし、問いの形にまとめて学習問題を立てる。
調べる	〈目指す児童像〉 森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により、国土保全に関わる重要な役割を果たしていることについて、確かな理解をしている。	・林業家は、誰がどのように森林を守り育てているのか。 【工程】	○時間的・空間的・相互関係的な視点をふまえた教材 【相互関係的な視点の教材】 ・林業家の取組 ・森林バンク ・森づくり推進プラン ・企業の森 ・とうきょう林業サポート隊 ・森林ボランティアの方の話 ⇒森林が様々な立場の人々によって、維持・管理されていることに着目できる教材  【相互関係的な視点の教材】 ・CoC 認証 ・多摩廃材 ⇒森林に対し関心をもち続けることの必要性に着目できる教材	○対話的に学び、多角的に考えるための工夫 ・調べた事実を基に問いに対する考えをグループやクラス全体で話し合うことで、森林の働きや、その保護・育成について理解を深めていく。
まとめる	〈目指す児童像〉 森林保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりすることを通して、国土の環境保全への関心を高めている。	・私たちは森林とどのように関わっていけばいいのだろうか。 【国民生活との関連】	○時間的・空間的・相互関係的な視点をふまえた教材 【相互関係的な視点の教材】 ・森林に対する東京都、企業、市民の関わりを表す関連図 ⇒様々な立場に自分たちを加えることで、自分と社会とのつながりを考え、参画意識を高める教材	○対話的に学び、多角的に考えるための工夫 ・東京都や企業、市民のそれぞれの立場からどのように森林を保護・育成しているかを考え、自分たちも国土保全にどのように関わっていけるかを多角的に考える。

④ 問題解決の中で対話的な学び、多角的に考える学習活動の工夫

「まとめる」段階において、森林の広がりや森林の働き、森林の育成や保護に関わる人々の取組などを関連図にまとめて整理する活動は、様々な立場の人たちの取組を関連付けることができ、社会的事象相互の関係を明らかにした上で特色や意味を考える際の手立てとなると考えた。



⑤ 確かな社会認識をもとに、選択・判断をする場面の設定

本小單元では、これからの森林の育成・保護について多角的に考え、国民の一人として自分たちに協力できることを考えたり、選択・判断したりできるように、意見を交流したり話し合ったりする学習活動を設定した。

(3) 児童に育成される資質・能力の評価方法の工夫

- ・見取りの評価方法を工夫して目指す子供像に迫ることができたかを評価し、研究の手立ての有効性を分析していく。
- ・「つかむ」段階での子供の考えと「まとめる」段階における子供の記述を比較したり、「まとめる」段階と「いかす」段階での発言や記述を比較したりしながら、児童が産業の発展や国民生活の向上をどのように考えているのかという観点で評価をする。

5 小単元の指導計画と評価計画 (7時間扱い)

過程	ねらい (数字は時数)	○主な学習活動 問問い ・予想される児童の反応	教師の指導・支援 (□留意点◎資料◇評価)
つかむ	①私たちの生活において、木や森林が様々な場面で密接に関わっていることに関心をもつとともに、日本の森林の分布について理解する。	<p>○身の回りにはどんな木製品があるのか考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">わたしたちは、木とどのようにかかわっているのだろうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆 ・机 ・ドア ・プリント</li> </ul> <p>○日本列島は森林が多いことを知り、ヒノキの端材を触り、感想を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真で見ると緑色が多い。</li> <li>・森林率が世界で第3位だ。</li> <li>・ヒノキの匂いを嗅ぐとリラックスできる。</li> </ul> <p>○天然林と人工林の違いから、人の手が入った森林があることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろ形や大きさの木があるけど、もう一方は同じ種類の木ばかりだ。</li> <li>・枝の伸び方も曲がっているものと、みんな真っ直ぐ立っているものがある。</li> </ul> <p>○昔から日本人が森林資源を活用しながら、植林して林業地を増やしてきたことを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界最古の木造建築として法隆寺の五重塔は残っている。</li> <li>・弥生時代には木造の建物が作られていた。</li> <li>・日本人は昔から木と関わりあって生活してきた。</li> </ul>	<p>◎将棋の駒、台</p> <p>◎川場移動教室における遠足の様子</p> <p>◎新国立競技場</p> <p>◎森に生息する生物</p> <p>□日本は森林が多いことを視覚的にとらえさせる。</p> <p>◎ランドサットの衛星写真</p> <p>◎天然林と人工林 (写真・グラフ)</p> <p>◎高床式倉庫 (写真・文章資料)</p> <p>◇【関・意・態】①</p>
	②森林の働きを理解し、疑問に思ったことから学習問題をつくる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">森林には、どのような役割があるのだろうか</div> <p>○森林の役割や働きを予想してから調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物のすみかとなっている。</li> <li>・水をきれいにする。</li> </ul> <p>○カリフォルニアで起きた山火事から、山火事後の土砂災害が起きた原因を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害で家が壊れ、道路が通行止めになった。</li> <li>・木が生えているということで根がしっかり張って土砂が流れにくくなる。</li> </ul> <p>○日本の森林の現状を知り、疑問や考えたことを話し合い、学習問題を立てる。</p> <p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荒れている人工林が増えている。</li> <li>・林業家だけが頑張るだけでは手入れしきれない。</li> <li>・国民が森林のことを知らなさすぎる。</li> </ul> <p>〈疑問や考え〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林はこれからどうなるのか。</li> <li>・林業家だけでは日本の森林が守れないのはどうしてだろう。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習問題 大切な森林を、私たちはどのように守っていけばよいのだろうか</p> </div>	<p>◎森林の働き (絵・文章)</p> <p>□ペアでたくさんの考えがでるようにする。</p> <p>◎カリフォルニアの山火事 (映像)</p> <p>◎山火事後に発生した土砂災害 (映像)</p> <p>◎日本の土砂災害の現状 (件数)</p> <p>◎等々力溪谷 (写真)</p> <p>◎林業家の推移 (グラフ)</p> <p>◇【思・判・表】①</p>



<p>③ 林業家が森を育成、保護している仕事について調べる。</p>	<p>○調べることをまとめ、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業家は、どのように森林をつくり、育てているのだろう。</li> <li>・林業家と国・都は森林を保全するために、どのような工夫や努力、協力をしているのだろう。</li> <li>・林業家と企業、市民は森林を保全するために、どのような工夫や協力をしているのだろう。</li> <li>・森林保全するために私たちにはどんなことができるのだろう。</li> </ul> <p>○林業に携わる人々がどのように森林を育てているのかを調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>林業家は、どのように森林をつくり、育てているのだろうか</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈林業に携わる人々の仕事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育苗 …種から育てた苗を畑に植える。</li> <li>・植林（植栽）…畑で成長した苗を山に植える。</li> <li>・下草刈り…木の生長の妨げになる雑草を刈り取る。</li> <li>・枝打ち…節のない木材を作るに下枝を切り落とす。</li> <li>・間伐 …大きく生長した木を伐る。</li> <li>・運搬 …伐りだした木を運ぶ。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林を育てるには、50～60年という長い期間をかける必要がある。</li> <li>・森を守るということは、木を切って使うことだ。</li> </ul>	<p>◎東京都の森林の割合</p> <p>◎HP「東京の木・森のしごと」</p> <p>◎林業家の方の話</p> <p>□HPの映像資料と教科書や資料集を照らし合わせながら調べるようにする。</p> <p>◇【技】① 【知・理】①</p>
<p>④ 国や都が林業家と協力して、森林を保護・育成する取組を調べる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>林業家と国、東京都は森林を保護・育成を進めるために、どのような工夫や努力、協力をしているのだろうか</p> </div> <p>○輸入材と国産材の使用量の変化を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸入材の方が国産材よりも多く使われている。</li> <li>・近年は、木材の使用量自体が減ってきている。</li> </ul> <p>○資料を基に、国や都が林業家と協力して、森林を保護・育成する取組を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材自体は、輸入木材に押されてしまっている。</li> <li>・木を伐っても、生活できないから林業を辞めてしまう人が増えてしまった。</li> <li>・大型の機械を導入して、少ない人数でも効率よく作業できるようにしている。</li> <li>・花粉症対策で、古い木を伐って森林の循環を進めようとしている。</li> <li>・東京都では木育を進め、都民に多摩産材の利用に関心をもってもらおうとしている。</li> </ul>	<p>◎輸入材と国産材の消費量の推移</p> <p>◎国や都が林業家を支援する取組</p> <p>◎林業家のNさんの話</p> <p>□個人で調べた後、グループや全体で分かったことを共有し、森林の保護・育成における課題と努力や工夫を整理できるようにする。</p> <p>◇【技】① 【知・理】①</p>

	<p>⑤企業や、市民が森林を保護・育成する取組を調べる。</p>	<p>企業や市民団体は、森林を保護・育成を進めるために、どのような工夫や努力、協力をしているのだろうか</p> <p>○企業、市民が林業家と協力して森林を保全する取組や支援する取組を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「企業の森」では、企業が森林を保全するためにかかる費用を出したり、社員の方が植林をしたりしている。</li> <li>・東京チェーンソーズでは、市民から森林を整備する費用を募って、様々なイベントを行って森林に関心をもってもらおうとしている。</li> <li>・青梅りんけんの人々は、里山を憩いの場所として整備していくことで地元の人々に森林に関心をもってもらおうと努めている。</li> </ul>	<p>◎企業の森</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎とうきょう林業サポート隊</li> <li>◎東京チェーンソーズ「美林倶楽部」</li> <li>◎青梅りんけんの取組</li> </ul> <p>□企業や市民がどのように森林の保護・育成に関わっているのかを考えられるようにする。</p> <p>◇【技】① 【知・理】①</p>
	<p>⑥国土の環境保全のためには、国民の関心を高めることが重要なことに気づき、自分なりの問題意識をもつ。</p>	<p>身のまわりの木は、どこから来たのだろうか。</p> <p>○日本の国産材を使っている割合から、その理由を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業家の不足や搬出の道の未整備により値段が上がってしまう。</li> <li>・東京の「多摩産材」への関心と認知度は低い。</li> </ul> <p>○外国産の木材の状況について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模に伐採が進められている。</li> <li>・世界最速の森林破壊の地域の一つでもある。</li> <li>・最大の輸出先は日本。</li> </ul> <p>○調べてきたことのうち、自分が問題だと思うことについて互いの考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内の木があるのに使っていないこと。</li> <li>・海外からの輸入に頼っていること。</li> <li>・国民が木に無関心なこと。</li> </ul>	<p>□日本の国土は67%が森林であるにもかかわらず、70%も輸入に頼っている理由を考えさせる。</p> <p>◎「国内林業の現状と多摩産材の認知度」 文章資料</p> <p>◎「マレーシアでの伐採」と「村長の手紙」 新聞記事の加工</p> <p>◇【関・意・態】②</p>
<p>まとめる</p>	<p>⑦関連図にまとめ、森林資源を守るために自分たちにできることを考える。</p>	<p>大切な森林を、わたしたちはどのように守っていけばよいのだろうか。</p> <p>○調べてきたことを基に、関連図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林には、とても大切な働きがある。</li> <li>・森林を守るために多くの人たちが協力している。</li> </ul> <p>○森林を守るための国の新たな取組を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林環境税を国民から集めようとしている。</li> </ul> <p>○学習問題に対する自分の考えを書く。</p>	<p>□自分が大切だと思ったことの根拠を、調べたことの中から明確にさせる。</p> <p>◎森林環境税</p> <p>◎関連図</p> <p>◇【思・判】② ◇【関・意・態】③</p>
<p>森林は日本の国土には欠かせない大切なものだ。森林にかかわる人々は、それぞれの立場で森林を守ろうと努力を続けている。しかし、国民の森林に対する無関心さが原因で、輸入が増え、その結果、外国の環境破壊つながる可能性があることが分かった。私たちは大切な森林を守り続けるために、森林に関心を持ち続けたい。例えば国産材の製品を買ったり、ボランティアをしに森に入ったりしたい。また、国には林業家の人たちが働きやすくなるきまりを作ってもらいたい。</p>			

6 本時の指導（2／7時） 世田谷区立等々力小学校 5年1組36名

授業者 世田谷区瀬田小学校 主任教諭 茂木 正浩

(1) 本時のねらい

森林の役割や保全の現状を調べることを通して、森林を守るための取組について問題意識をもち、解決していくための予想を考える。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	□指導上の留意点 ◎資料◇評価
導入 (5分)	<p>○前時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林は、自分たちの生活とたくさん関わっている。</li> <li>・森にはどんなよさがあるのだろう。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     森林にはどのような役割があるのだろうか                 </div>	<p>◎川場の様子（写真）</p>
展開 (35分)	<p>○森林の役割や働きを予想してから調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物のすみかとなっている。</li> <li>・水をきれいにする働きがある。</li> <li>・木材を生み出している。</li> <li>・空気をきれいにする働きがある。</li> <li>・森林には環境面で70兆円分の価値がある。</li> </ul> <p>○カリフォルニアで起きた山火事から、山火事後の土砂災害が起きた原因を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山火事で23区と同じくらい森林が燃えた。</li> <li>・土砂災害で家が壊れたり、道路が通行止めになったりした。</li> <li>・木が生えているということで根がしっかり張って土砂が流れにくくなる。</li> </ul> <p>○日本の森林の現状を知り、疑問や考えたことを出し合い、学習問題を立てる。</p> <p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荒れている人工林が増えているが、手入れをしている林業家の数が減っている。</li> <li>・林業家は高齢化している。</li> <li>・林業家だけが頑張るだけでは、手入れしきれない。</li> <li>・国民が森林のことを知らなさすぎる。</li> </ul> <p>〈疑問や考え〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林はこのままでいいのか。</li> <li>・森林に関心を集める工夫はないのだろうか。</li> <li>・林業家を増やしていく方法はないのか。</li> <li>・国がもっとアピールするとよいのではないか。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     学習問題                      大切な森林を、私たちはどのように守っていけばいいのだろうか                 </div>	<p>◎森林の役割（絵）</p> <p>◎森林の評価額（経済面・環境面）</p> <p>◎カリフォルニアの山火事（写真・映像）</p> <p>◎山火事後に発生した土砂災害（写真・映像）</p> <p>◎土砂災害の平均発生件数</p> <p>□日本には森林がたくさんあるのにもかかわらず、手入れをしていないことが原因で、土砂災害が起きていることをつかませる。</p> <p>◎森林総合研究所の方の話（林業の現状）</p> <p>□疑問や考えたことをもとに学習問題を見出す。</p>
まとめ (5分)	<p>○学習問題に対する予想をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業家以外の方が助けていると思う。</li> <li>・国や都がお金などで助けているのではないか。</li> <li>・ボランティアが、森の整備をしていると思う。</li> <li>・林業家を支える仕組みをつくっているのではないか。</li> </ul>	<p>◇【思・判・表】①</p>

## 6 本時の指導（6／7時）

5年3組36名 世田谷区等々力小学校 主任教諭 中楯 浩太

### (1) 本時のねらい

国土の環境保全のためには、国民の関心を高めることが重要なことに気付き、自分なりの問題意識をもつ。

### (2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・ 予想される児童の反応	◎資料 □指導上の留意点 ◇評価
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時をふり返り、本時の見通しをもつ。</li> <li>・ 企業や市民団体が森林を守る活動に取り組んでいる。</li> <li>○川場の建物にはどこの木が使われているのか予想する。</li> <li>・ 川場の木・国産・外国産</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎川場の様子（写真）</li> <li>□森林が広がる群馬県川場村の宿舎の木材に外国産が使われていることに矛盾を感じさせる。</li> </ul>
<p>身のまわりの木は、どこから来たのだろうか？</p>		
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の木材は国産が30%で、外国産が70%であることを知り、その理由を調べる。</li> <li>・ 木を切っても売れにくい状況にある。</li> <li>・ 林業家の不足や搬出の道の未整備により値段が上がってしまう。</li> <li>・ 東京の多摩地域の木材「多摩産材」への関心と認知度は低い。</li> <li>○外国（マレーシア）産の木材の状況について調べる。</li> <li>・ 大規模に伐採が進められている。</li> <li>・ 世界最速の森林破壊の地域の一つでもある。</li> <li>・ 最大の輸出先は日本。</li> <li>○調べてきたことのうち、自分が問題だと思うことについて互いの考えを交流する。</li> <li>・ 国内の木があるのに使っていないこと。</li> <li>・ 海外からの輸入に頼っていること。</li> <li>・ 国民が木に無関心なこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□日本の国土は67%が森林であるにもかかわらず、70%も輸入に頼っている理由を考えさせる。</li> <li>◎国内林業の現状と多摩産材の認知度」文章資料</li> <li>◎「マレーシアでの伐採」と「村長の手紙」新聞記事の加工</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の課題についてまとめ、考えたことを発表する。</li> <li>・ 自分が知らないうちに日本や世界の森林に影響を与えてしまっていることが分かった。身の周りで使われている木がどこから来たのかもっと関心をもつようにしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇自分たちの意識や生活が、国土の環境保全に関係していることに気付き、自分のこととして問題意識をもっている。</li> <li>「発言・ノート」</li> <li>「関心・意欲・態度②」</li> </ul>